

「指示待ち」から「自ら動く」組織へ

若手リーダー座談会

入社からの数年で直面した壁を、どう乗り越えてきたのか。東京支店で活躍する小笠原さんと遠藤さんに、後輩を持つ立場になって芽生えたリーダーとしての自覚を伺いました。「誰もが主体的に動ける組織」を目指し、奮闘するお二人のリアルな声をお届けします。



株式会社高田クレーン興業 東京支店 オペレーター **遠藤 雅さん**

株式会社高田クレーン興業 東京支店 営業 **小笠原 梢太さん**

リーダーとしての自覚

伝える工夫と、手本となる姿勢

小笠原：私は後輩ができたことをきっかけに、周囲への伝え方を意識するようになりました。以前は作業内容を指示するのみでしたが、今は「その仕事をする中で何が起るのか」という中身や意義を、一から理解してもらうように努めています。仕事の根幹を共有することが、結果としてミスを防ぎ、円滑な運営につながると考えているからです。

遠藤：私の場合は「お手本にならなければならない」という意識が強くなりました。失敗ばかりのリーダーには、誰もついてきてはくれません。

だからこそ、日々の作業一つひとつをこれまで以上に丁寧に、安易なミスをしないという緊張感を持って取り組むようになりました。

小笠原：オペレーターの方がミスなく対応してくださることで、営業としてもお客様対応に過度な時間をかけることなく業務を遂行できるので、非常に助かっています。良い影響を与え合える関係を継続したいものですね。

直面した壁の乗り越え方

仕組みの構築と原因の深掘りで、困難を突破

小笠原：入社してから1年半の間に感じていた課題は、オペレーターとの連携です。私とは異なる業務を担う方々に、いかに意図通り動いてもらう



遠藤さん



小笠原さん

か。その難しさに日々苦悩していました。現場でトラブルが発生すれば、窓口である営業に連絡が届きます。そのようなトラブル対応を軽減するためにも、機械のメンテナンス方法やルールを明確に言語化し、組織としての仕組みを整えました。ルールの徹底をお願いすることで、現在はスムーズに業務を進めています。

遠藤：私は、自分がミスをしたことを受け入れることと、ミスをしてしまったときにどう向き合かが課題でした。失敗を単なる失敗で終わらせず、「なぜ起こったのか」を深掘りし、今後の対策を考えた上で上司や先輩に相談するようにしています。原因を徹底的に分析することで、現在は大きなミスもなく、安定して業務を遂行できるようになりました。

小笠原：遠藤さんの努力のおかげで、現場のクレームもまったくありません。営業も仕事がしやすく大変助かっています。

リーダーに必要な資質

主体性と一歩先の思いやりが築く、理想の組織

遠藤：これからは1人のリーダーが導くのではなく、誰もが主体的に動ける「リーダーが何人もいる組織」が理想です。指示を待つのではなく、自分から動ける人材が増えれば、会社はより良くなる

はず。そのために、まずは自分が言ったことを行動で示し、仲間のサポートに回る姿勢を大切にしたいと考えています。

小笠原：主体性は不可欠ですね。その上で私が大切だと思うのは「思いやり」です。一歩先を考えて仲間を助ける、お客様のために動く。すべての土台に思いやりを持ち、熱量高く取り組むことが、強いチームを作ると信じています。

遠藤：思いやり、本当に大事ですね。

小笠原：営業としても、現場で自分にできることがあれば率先して協力します。一人ひとりが主体性を発揮できる、そのような理想のチームを共に築いていきましょう。

皆さんへのメッセージ

次代を担う、確固たる決意

小笠原：営業もオペレーターも関係なく、私自身が誰よりも一番働く人間でありたいと考えています。その姿勢を自らの行動で示しながら、皆でより良い会社にしていきましょう。

遠藤：リーダーとして組織を引っ張っていけるように頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

タカダグループの スタンダードを守る

～妥協なき品質の源泉～

会社が急成長する中、「高田クレーン興業の品質」はいかに維持されているのか……。小笠原さんが語る心構えをヒントに、あなた流の「品質を守る源泉」を見つめ直してください。

品質を守るための絶対的ルール

最も重要なのは機械の状況確認

ワイヤーの消耗やメンテナンス状況に加え、部材に打痕がないかを徹底的にチェックします。クローラークレーンの場合、わずかな打痕でも変更検査が必要となり現場に出せなくなってしまいます。

入念な現場との連携と 事前打ち合わせ

たとえば現場が狭いとクローラークレーンを寝かせられず、不具合時の修理は困難。そのため、前もって状況を把握し、ブーム構成などを現場と確認して調整しておくことが必要です。組み立て前の検査も含め、入念な事前の確認や連携がミスのない仕事につながります。

チームのレベルを底上げする指導法

事故の重大性とプロの自覚を伝える

私たちの仕事は一步間違えば人命に関わり、機械の故障は多大な損失を招くもの。そこで日々のコミュニケーションの中で、「メンテナンスを怠れば作業全体が止まる」といった影響を周囲と共有しています。プロとは、任された現場を責任をもって全うするものであり、当たり前をやり抜く姿勢が求められます。

基本の徹底と周囲への思いやり

ミスをしないという基本の徹底は当然のこと、機械への配慮、共に働く職人の皆さんへの思いやりも欠かせません。一人ひとりが責任感をもち、「クレームゼロ」を完遂することが、チームの底上げと品質向上につながります。

私が紹介します！



東京高田クレーン興業 営業

おがさわら しょうた
小笠原 梢太さん

現場の回し方 小笠原流

無事故を続けるには 「ヒアリング」が大切

エンジンからの異音や操作時の違和感、少量の油漏れなど、小さな異変をヒアリングし、重大な事故の前に予防線を張ります。オペレーターの声に耳を傾けることも重要。異変があればすぐ連絡をもらい、迅速に修理の段取りを行います。

率先した行動と寄り添う コミュニケーションを

懸念点があれば早期に対応し、問題を解消するよう心がけています。私が率先して即日対応することで、オペレーターの皆さんも協力的な姿勢を見せてくれます。また、プライベートな話題も含め、なんでも気軽に話せる寄り添ったコミュニケーションも欠かせません。

今後の目標

取引先様に「高田クレーン興業なら安心」と言われ続けるには、「正確な計画」と「ミスのないオペレーター」の2点が重要。とくに計画においては、作業半径や吊り荷に合わせて最適なブーム構成を提案したり、足場との干渉を防いだりと、現場に合わせた正確な計画を組む必要があります。今後もこの2点を徹底し、長く信頼されるよう努めます。

困難への向き合い方

現場の「死角」を埋めるのは、仲間との「信頼」。日頃の対話が安全な現場を創り出す。安全な現場をつくる堀さんの仕事術に迫ります。



東京高田クレーン興業 東京支店

ほり せいや
堀 晟也さん

プロとしてのこだわり

自己判断を避け死角をカバー

危ないと感じた際は自己判断せず、無線で職人の方々に確認。クレーンの運転席は死角が多いため、周囲の人に見てもらうことが不可欠です。また、事故を未然に防ぐため、違和感を覚えたらすぐ周囲に声をかけます。

トラブル発生時の働きかけ

速やかな報告を徹底

現場でトラブルが起きた際は後回しにせず、すぐに職長や所長に報告。どう対応すべきかをよく話し合い、被害の拡大を防ぐことに努めています。

日頃の対話がいざというときの 助け合いを生む

相談する際、心理的ハードルを少しでも下げられるよう、休憩時の雑談などで皆と親睦を深めています。日頃から関係性を築くことで、周囲も互いに相談しやすい環境を作ることができます。

失敗を成長に

つなげるための

「仕事への向き合い方」

反省を忘れず、 経験を次に活かす

「こうしておけば良かった」という反省は忘れずに、次の仕事に向き合います。不安なことや失敗しそうになったときは1人で抱え込まず、先輩方に相談して助言をもらうようにしています。

今後の目標

助言を吸収し 信頼される存在へ

今後も先輩方のアドバイスを吸収することで、技術向上を目指し、大型機も安心して任せられるオペレーターへと成長していきます。

3月以降に入社された NEW FACE!

新入社員をご紹介!

3月21日入社 東京高田クレーン オペレーター 小関 智男さん	3月21日入社 東京高田クレーン オペレーター ただ じょうじ 多田 譲治さん	3月21日入社 東京高田クレーン オペレーター いわた しょういち 岩田 勝一さん	3月23日入社 東京高田クレーン オペレーター にしざわ たけふみ 西澤 武文さん	4月1日入社 MALLA MUNAさん	4月1日入社 GHale ROshanさん	4月1日入社 PUN ROM KALAさん
4月1日入社 Welina PAKHRIN ANJANEさん	4月1日入社 Management NGUYEN THI HUYENさん	4月1日入社 Management TAMANG ANITAさん	4月1日入社 Management RANA MAGAR ANIMAさん	4月1日入社 Management RANA JYOTIさん	4月1日入社 Management PHAM THI KIM DUNGさん	4月1日入社 Management THANET MAHESHさん
4月1日入社 Management NGO THI QUYNH NHUさん	4月1日入社 東京高田クレーン オペレーター さが しょう 佐賀 祥さん	4月1日入社 タカダホールディングス 役員運転手 よしだ かずき 吉田 一樹さん	4月1日入社 エムティ・マシナリー 大阪組立解体工 たなべ あきひろ 田辺 明弘さん	Topics 新車を導入しました! 2026年3月26日 90tクローラークレーン (SCX900-3C6) 2026年5月1日 70tクローラークレーン (SCX700-3C5) 2026年5月11日 70tクローラークレーン (SCX700-3C5)		